

## 高裁勝利に向けて・控訴理由書を解く！シリーズ⑦

# これでも被害度が少ないといえますか？

3月に出された地裁判決は、解雇によって労働者が受ける痛みを一切顧みず、検証すらしませんでした。解雇されてまもなく2年が経ちますが、原告たちは精神的にも経済的にも、どんどん追い詰められ厳しい状況におかれています。原告の状況を一部紹介します。



### 客乗裁判官の推測による判決

高齢者の中には子育ても終了した者もあり、その生活がかさむとも一概に言えないし、これを認めるに足りる証拠もない。

(乗員の判決では被害度について全く触れていません)

### しかし実際は

**客乗原告の3分の2は、独身あるいは一家の大黒柱で家族の生計を担っている人たちです。経済的な被害も甚大です。**

生活のためにアルバイトをせざるを得なく探していますが、単発的なアルバイトしかありません。やはり40歳近くになると、仕事はないのです。

まだ定年まで20年以上あるのに、これから先不安で仕方ありません。



退職金が微々たるもので、東京で暮らせず地方の実家に帰りました。しかし仕事もないため、日々生活が苦しくなっています。

会社がすごい利益を上げているのに、なぜ私達だけがこんな思いをこんな思いをしなければならないのでしょうか。

独りで子供を育てています。定年までの賃金をあてにして生活設計を立てていました。

人生設計が大きく変わったことで、子供にも大変な思いをさせています。

誇りを持ってしていた仕事を一方的に奪われることの辛さを、解雇した方人はわからないのでしょうか。経済的なことだけではありません。精神的な被害も大きいのです。

親の介護を抱えているため、まともな仕事に付きません。介護費用がかさみ、経済的にも精神的にも、どんどん追い詰められています。

会社から家のローンの貸付を受けていました。借入れ残金が退職金と相殺されたために、手元には一銭も入りませんでした。それでも借入額の残金があり、一括請求され、支払わない場合は年利18、25%を付加する旨の通知書送りつけられました。ローンを組み換えることもできず、将来の年金となる預け入れ金を解約し返済した。

一方的に解雇し、こうしたやり方をしてくる会社には、血も涙もありませ



妻の病気のことを訴えても、取り合ってももらえず解雇され、社宅も退去させられた。介護費用を捻出しようにも、再就職もできず、不安と焦りの毎日です。

職を失い恐怖から眠ることもできない毎日が続いた。精神的に不安定になり、家族皆が精神的に追い込まれている。

機長昇格目前に解雇された。他社の試験を何度も受けたが採用されなかった。年齢の高い副操縦士の就職は非常に難しい。

# 許したらいけません！ こんな解雇を！

10月の一斉宣伝行動

東京 6 カ所・大阪(10/29)  
福岡・小倉 4 カ所(10/31)

**310 人の仲間が 4740 名の通行人にビラ  
を手渡しして訴えました**

10月29日夕刻、原告と支援者は東京6カ所と大阪で、解雇撤回・職場復帰を求める一斉宣伝行動を行いました。尚、福岡と小倉は31日に行われました。JALの解雇問題がマスコミで取り上げられないため、一人でも多くの人に解雇の不当性を知って頂くために、毎月宣伝行動が行なわれています。



【写真上と右】池袋東口で通行人と話をする原告たち

## 雇い止めされた契約制 CA も訴えました

有楽町では、2回目の更新で雇い止めにされ、契約制客室乗務員の原告が訴えました。まじめに一生懸命働いていた契約制 CA をパワハラと人権侵害の未解雇した会社に、一人で立ち向かっています。

## 通行人から励ましや怒りの声も！

- 「940 名も採用するのに、84 名を戻さないのはひどい。経験者は必要。取り上げないマスコミもひどい」と署名。励ましの言葉もいただきました。(立川駅)
- 「組合をなくそうとしていたことを知りました。頑張ってください」と署名をしてくれました。(新宿駅)

ユナイテッドの社員の方が、原告に、本当に正社員が解雇されたのかと聞き、信じられない様子だった。

池袋では、JAL の子会社で会社ごと潰され解雇された日東整の原告が、初めて訴えました。



大阪はこの日、木枯らし1号が吹く中、600 人の方がビラを受けとってくださいました。

